

# テント泊（教育キャンプ）

## 1 活動の概要

テント泊をとおして非日常の生活を体験します。キャンプ生活は普段の生活と違い不便で手間のかかるものです。しかし、テントを張る活動、テント泊、後片づけをとおして、同じテントで宿泊する人との、人間関係を育む事ができるとともに、自然と親しむ事ができる活動です。

## 2 ねらいとして考えられるもの

グループチームワークと役割分担を学び、実行する。

## 3 活動時期

5月～10月頃 ※5月と10月には十分な防寒対策が必要。

## 4 活動場所

(1) ネイパルキャンプサイト（敷地内 30 張ほど設営可能。）

(2) 運動広場

（キャンプサイトを他の団体が使用する場合や団体の活動によっては設営可能。）

## 5 活動人数

少人数～最大100人程度

## 6 所要時間

テント設営・撤収 各1時間程度

## 7 指導依頼について

(1) 基本的には、引率または団体指導者の方に直接指導していただきます。事前打合せに来所した際に指導手順について、ネイパル職員が引率または指導者の方に指導します。

(2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼に答えられない場合があります。

(3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

## 8 団体に準備するもの

### (1) 参加者

テント泊に必要な服装     寝袋     着替え     雨具     防寒着

虫よけスプレー     日焼け止め     常服薬     懐中電灯

### (2) 引率者（指導者）

救急箱     蚊取り線香（ケースはネイパルにあります。）

チャッカマン（ライターでも可。）

## 9 ネイパルで貸し出しできるもの

- テント（7人用15張、5人用8張） □ペグ袋（ハンマー1、ペグ12本）
- ロールマット140個
- 電池式ランタン18個（電池は団体で用意。ランタン1個に必要な電池の数…単1電池6本）
- ほうき・ちりとり

※寝袋は、持参を原則とします。（ただし、個人・団体で用意できない場合は数に限りはありますが、ネイパルより貸し出しできます。）

## 10 活動にかかわって

### （1）実施までの流れ

#### 《事前》

テントの定員から1人～2人少ない人数で班編成し、必要な用具を事前にお知らせください。

#### 《設営時》

- ①テントの設営と撤去の仕方は、設営時にネイパル職員が説明します。
- ②説明後、管理小屋から用具を出してもらいます。テントの袋を開けてポールやインナーテント、フライシートの入っている順番、数を確認してください。
- ③ネイパル職員が説明したとおりに、設営します。
- ④設営後は、テントの収納袋や余ったペグなどの物品がなくならないようにテント内に保管してください。

#### 《撤収時》

- ①荷物を全部テントから出します。
- ②テント内を清掃してください。（ほうき、ちりとりは管理小屋横にあります）
- ③フライシートをはがして、野外炊飯場横の駐車場に広げ、乾燥させる。
- ④骨組みがついた状態のインナーテントを、野外炊飯場横の駐車場に運び、ひっくり返して、底面を乾燥させる。
- ⑤設営時にテントの袋の中に入っていた通りにテント・骨組みを収納します。
- ⑥引率者（指導者）の点検を受けた後、ネイパル職員の最終点検を受けてから、管理小屋へ収納します。（点検の時に不備（テントがしっかりとたためていない等）があった場合、やり直していただき、再度点検をするという形になりますので、指導者の方はよろしくお願いします。）

### （2）実施上の留意点

- ①テントの物品は、他のグループのテントのものと絶対に混ざらないように管理をお願いします。
- ②雨や夜露でテントが濡れている場合、予定時間に撤収できない事もあります。
- ③敷地内・周辺（出会いの森ウォークラリーコースなど）では夏期にハチやダニがでます。
- ④活動中に出了たゴミについては、団体で処理するか各自で持ち帰り下さい。

### （3）安全な活動をするため、次の事柄について事前指導してください。

- ①ハチが近づいてきたら絶対にこちらから攻撃（振り払うなど）せず、速やかにその場を立ち去る。

- ②ハチやハチの巣を発見した場合は必ず引率者（指導員）に連絡する。  
（指導者は事務室へ連絡してください。）
- ③ダニが衣服や体についていないか、活動中も活動後もチェックする。
- ④ダニに刺された場合は、必ず引率者（指導者）に連絡する。  
（指導者は事務室へ連絡してください。）

#### （4）荒天時の対応

テント泊中止の判断は引率者が行います。しかし、大雨、洪水等の警報、雷注意報が発表された場合はネイパル職員から引率者へ中止のお願いをします。

※中止時や天候の急変に備えて、宿泊室も確保しています。

「利用のてびき」の「健康・安全対策」「野外活動のフィールドマナー」も参考にしてください。